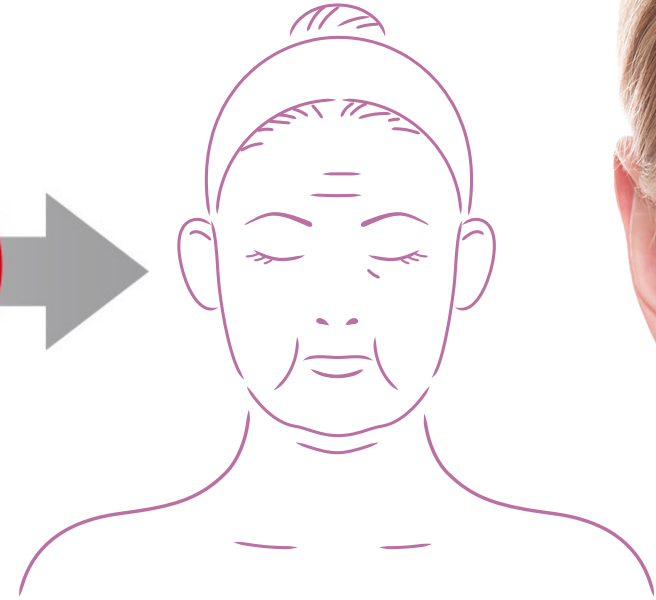
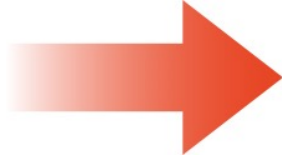


ANTI
AGEING

Pentide-NMN



NMN



NAD+

サーチュイン
遺伝子活性化



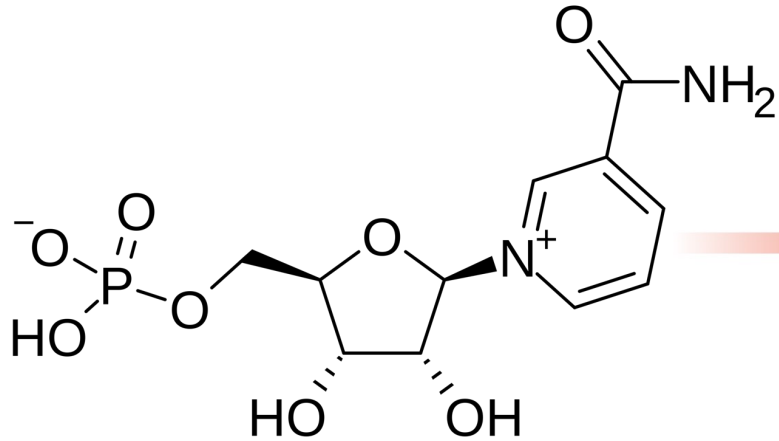


<https://news.wisc.edu/calorie-restriction-lets-monkeys-live-long-and-prosper/>

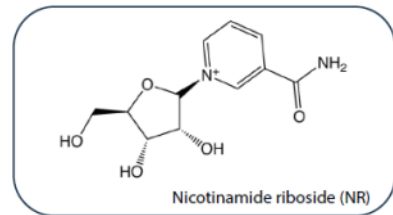
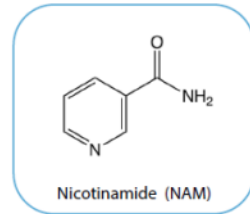
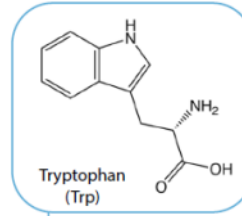
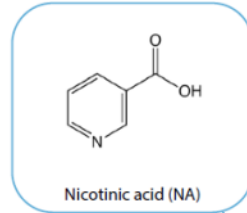


NMN

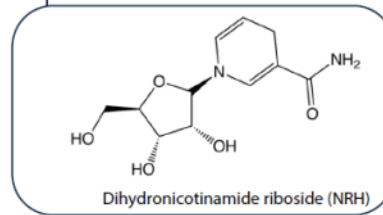
ニコチンアミドモノヌクレオチド



Non-ribosylated precursors



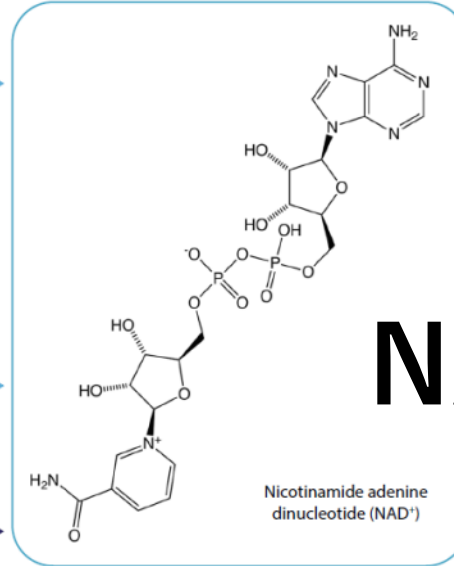
Ribosylated precursors



NMN

NMNH

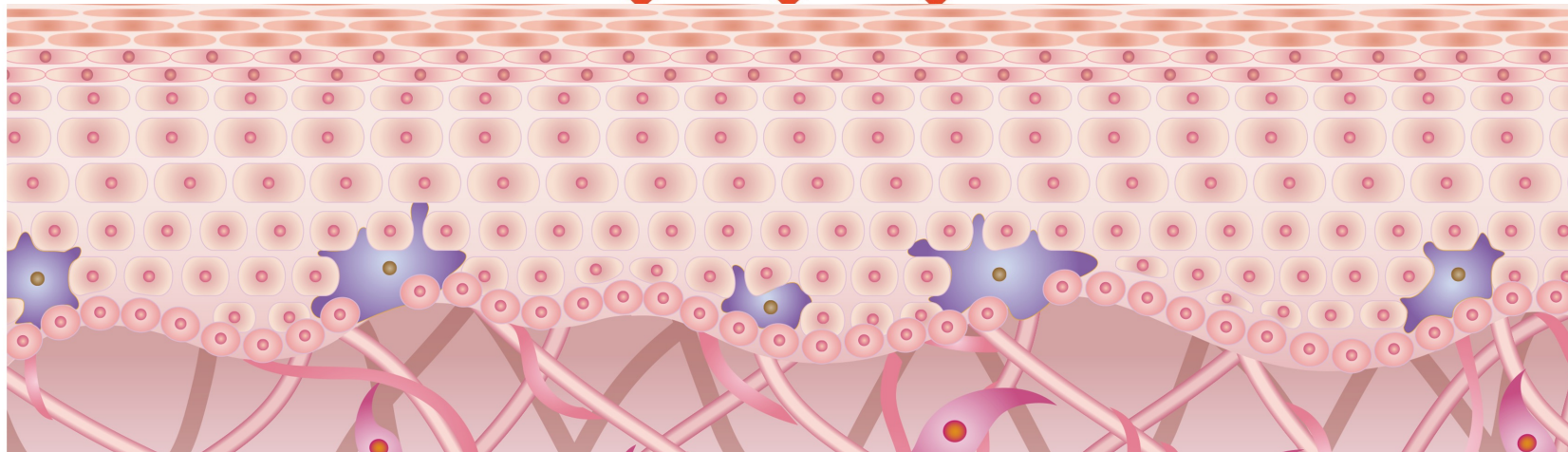
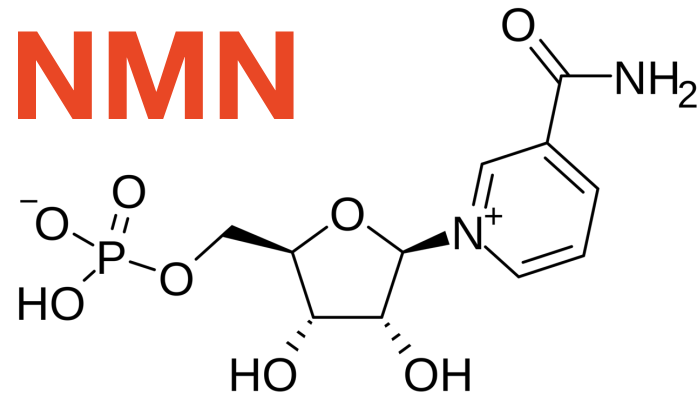
NAMN



NAD⁺

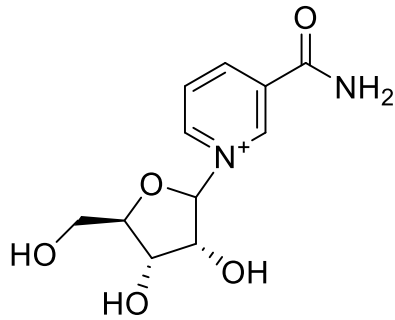


NMNの化粧品としての問題点



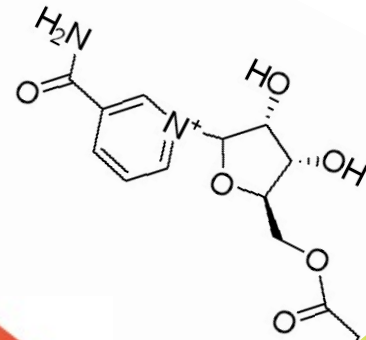
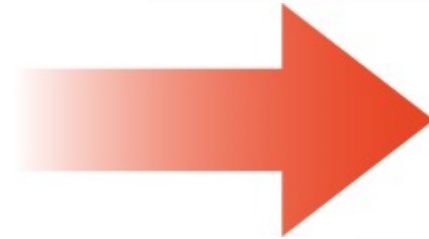
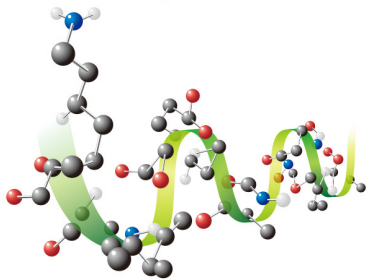
NMN = CPP

NMN (NR)



+

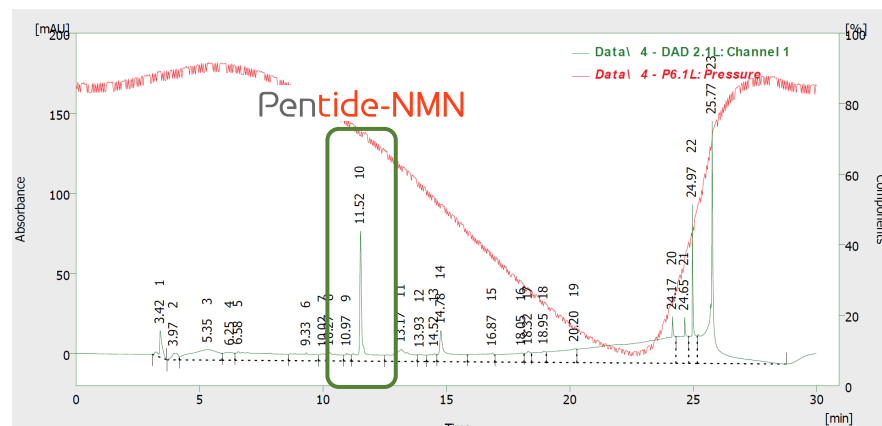
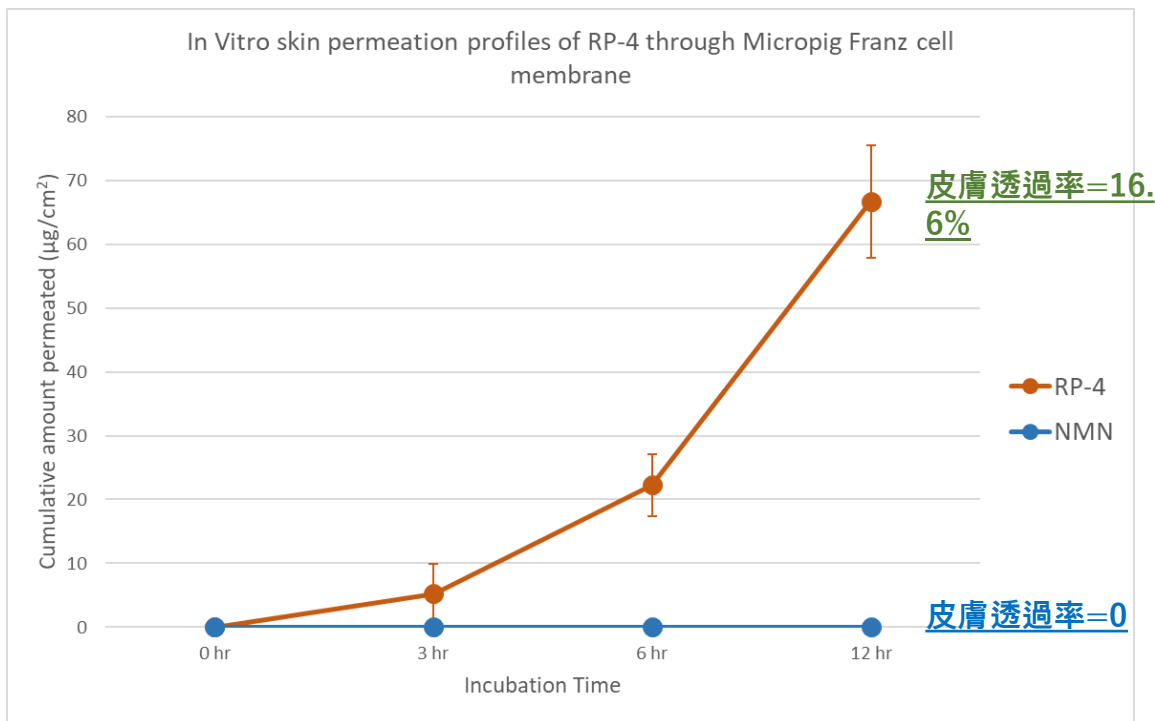
浸透型ペプチド
(CPP)



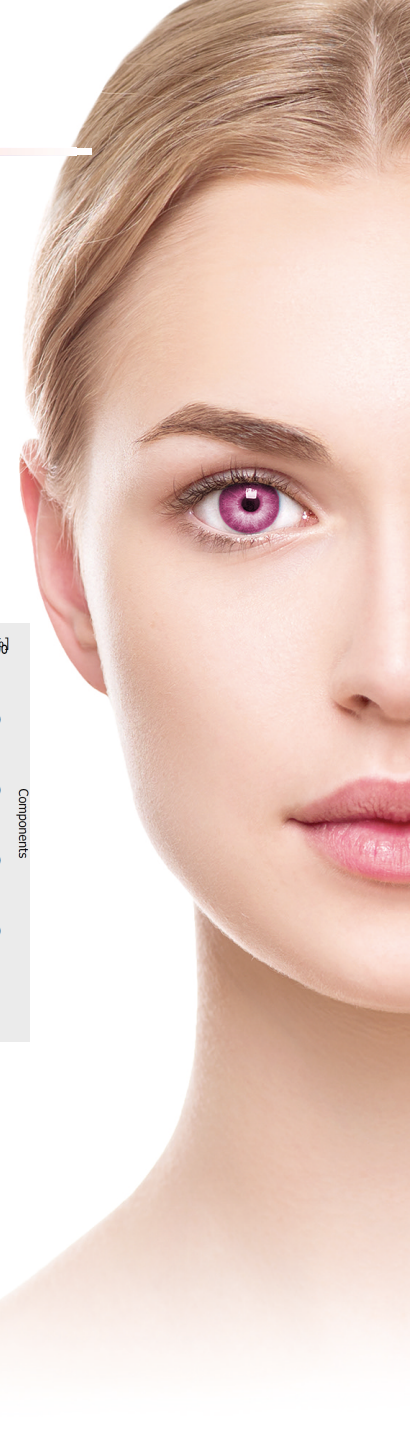
皮膚を透過し
細胞に取り込まれる
NMN誘導体



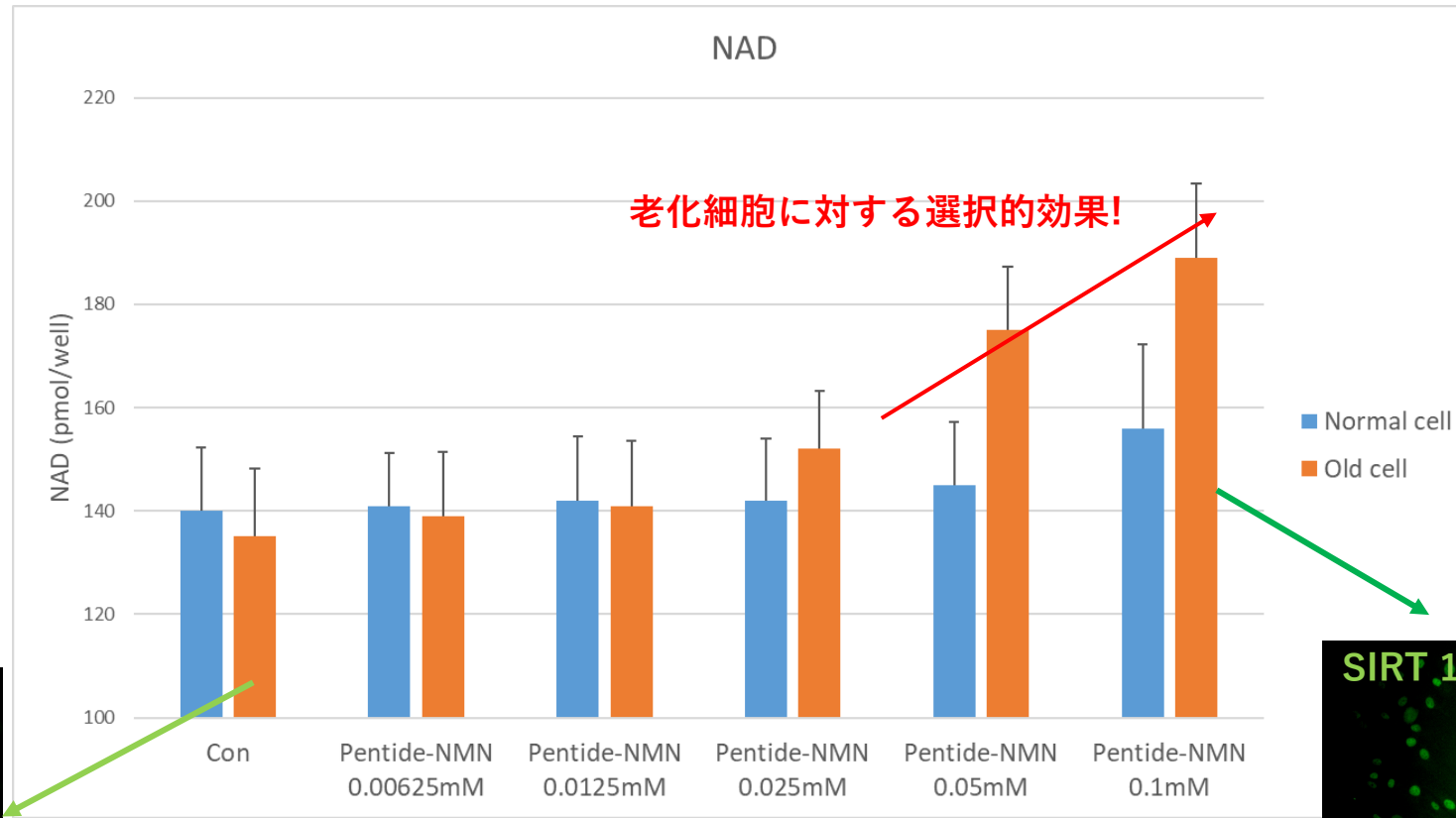
ペプチド-NMNの皮膚透過率試験



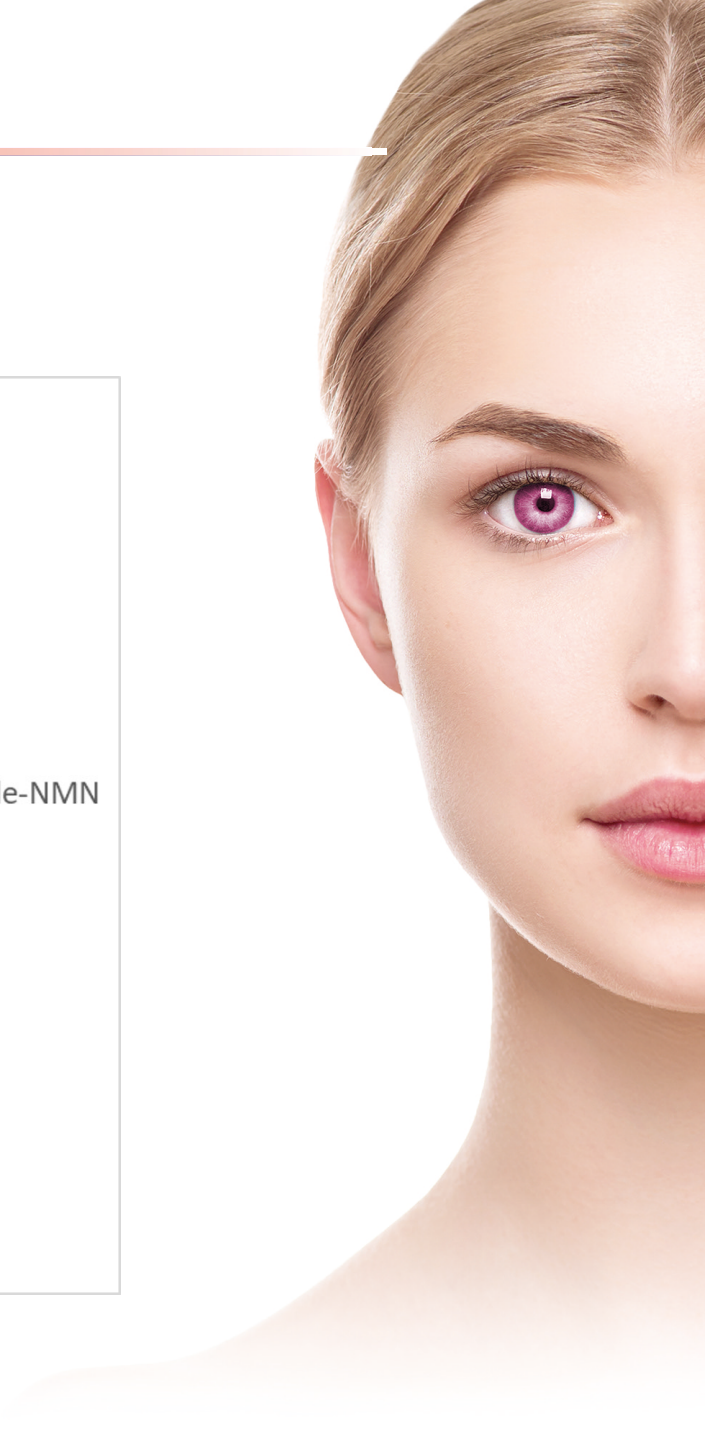
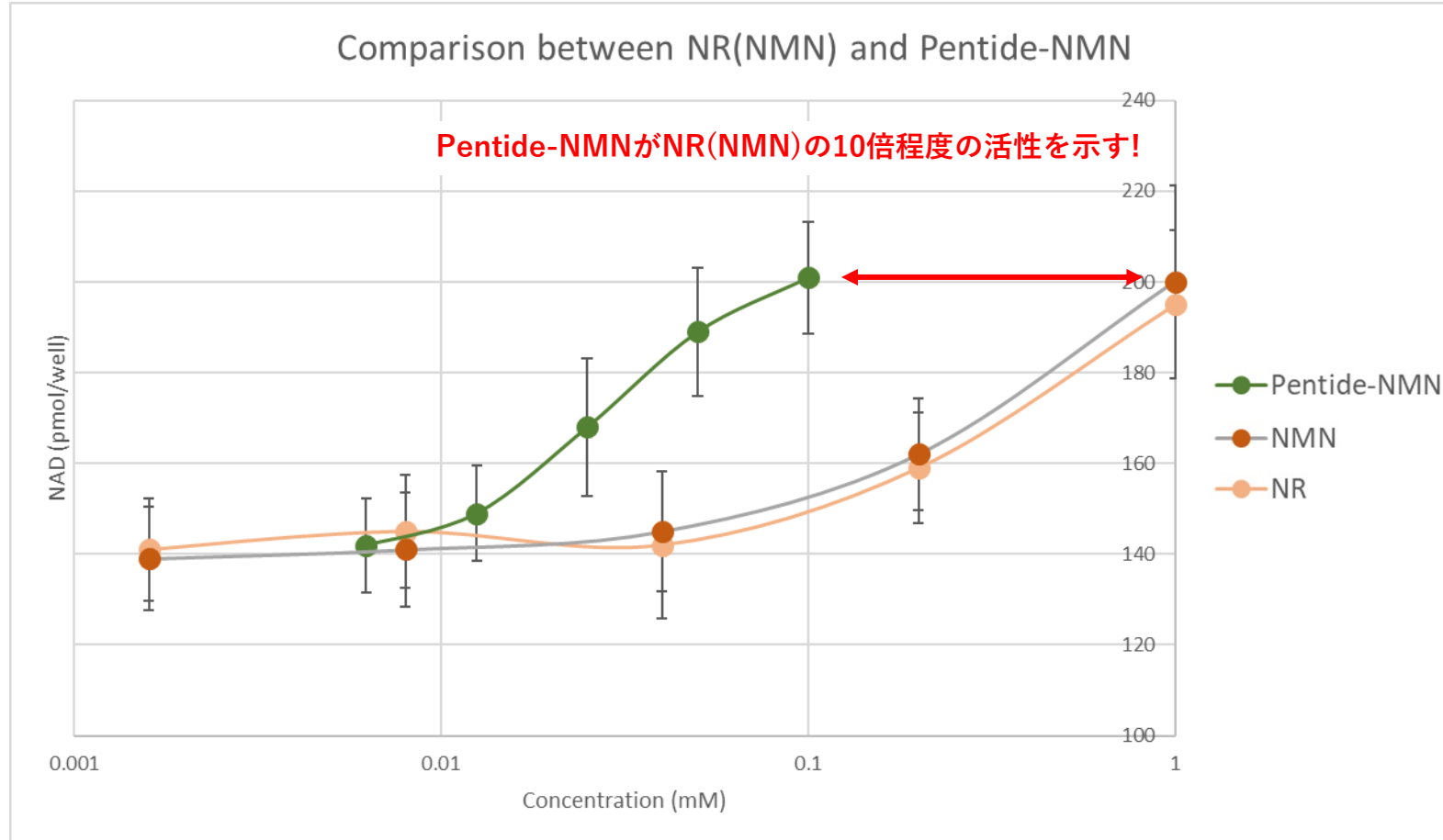
- Pentide-NMNの皮膚透過率を確認するために、Franz Diffusion Cell Assayを利用したIn Vitro皮膚透過実験を行う。
- NMNは試験期間の12時間まで皮膚透過率を確認できなかったが、Pentide-NMNは16.6%の優秀な皮膚透過率特性を示した。



Petide-NMNのヒト老化線維芽細胞に対するNAD誘導効果

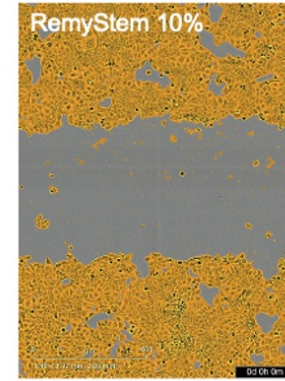
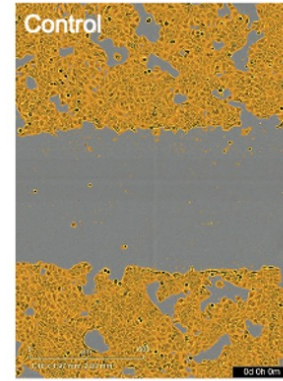
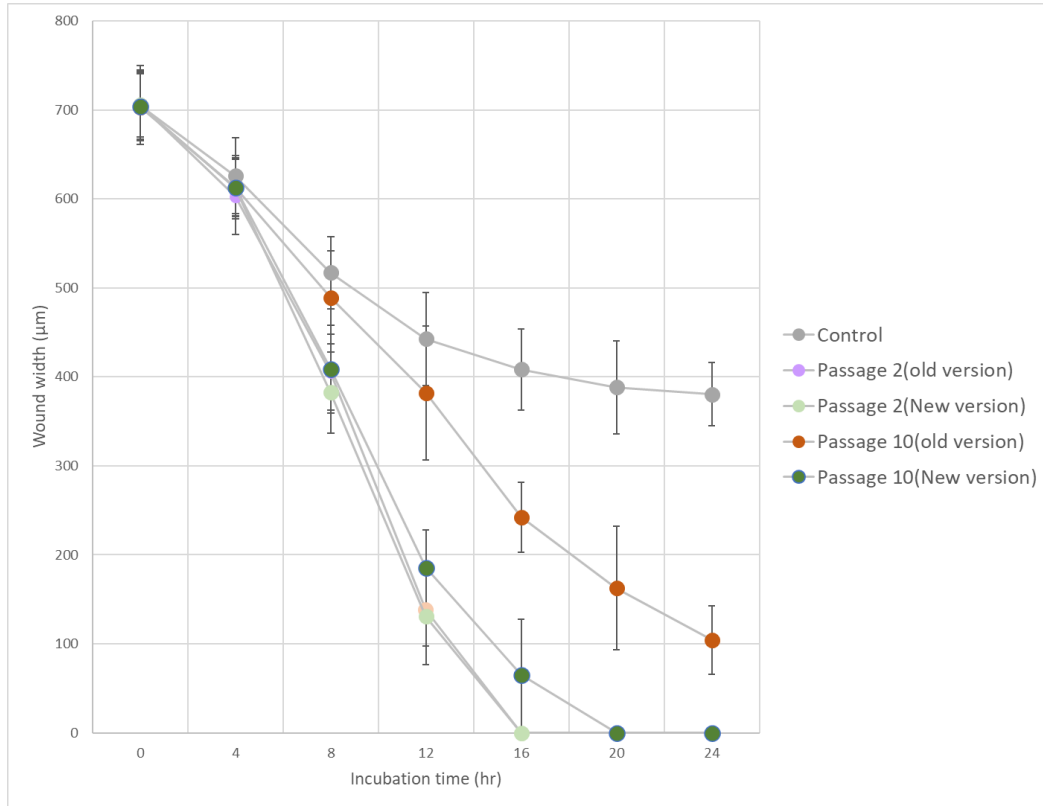


ペプチド-NMNとNMN・NRの細胞活性比較



ペンタイド-NMNを培地に使用したときの脂肪由来幹細胞のアンチエイジング効果

In Vitro Wound Healing Assay



Passage 10 の細胞においても passage 2 の細胞と同レベルの細胞活性を維持している。

